

牧師室から（6月28日）

梅雨の鬱陶しい季節になった。今年はコロナと共に半年が過ぎてしまった。日が長くなり、教会の前で夕涼みをして、日没まで本を読んだり黙想すると気持ちがよい。夏至である。国によっては夏至祭というのがあり、24日の聖ヨハネ（洗礼者）の日を祝う祭りと同時期で重なることが多い。ルカによる福音書によれば、聖ヨハネの誕生の予告が主イエスの誕生の予告の6ヶ月前である。これにより、この日（6月24日）が定められたらしい。

北半球では寒く日の一番短い冬至にクリスマスがあるのに対して、聖ヨハネの日が一年中で最も日が長く暑い時期に当たるのは対称的である。因みにこの日（6月24日）は日本基督教団創立記念日でもある。私どもの属する教団が主の摂理によって起こされたことを思いつつ、洗礼者ヨハネのように主イエス・キリストの道を備え、主を指し示す団体であることを願う。

（鈴木淳一牧師）